

2016年10月

慢性心不全治療剤
処方箋医薬品
日本薬局方 カルベジロール錠
カルベジロール錠 1.25mg「サワイ」

持続性 高血圧・狭心症治療剤 / 慢性心不全治療剤 / 頻脈性心房細動治療剤
処方箋医薬品
日本薬局方 カルベジロール錠
カルベジロール錠 10mg「サワイ」

慢性心不全治療剤 / 頻脈性心房細動治療剤
処方箋医薬品
日本薬局方 カルベジロール錠
カルベジロール錠 2.5mg「サワイ」

持続性 高血圧・狭心症治療剤 / 頻脈性心房細動治療剤
処方箋医薬品
日本薬局方 カルベジロール錠
カルベジロール錠 20mg「サワイ」

沢井製薬株式会社

大阪市淀川区宮原 5 丁目 2-30
TEL: 06(6105)5816

使用上の注意改訂のお知らせ

この度、下記のとおり使用上の注意を自主改訂致しますので、お知らせ申し上げます。
今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

記

・改訂内容（下線部改訂又は追加箇所、取り消し線部削除箇所）

改訂後			改訂前		
3.相互作用 併用注意(併用に注意すること)			3.相互作用 併用注意(併用に注意すること)		
薬 剤 名 等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬 剤 名 等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
クラスⅠ抗不整脈薬 ジソピラミド プロカインアミド塩酸塩 等	過度の心機能抑制作用があらわれることがある。 用量を調節する。	相互に心機能抑制作用を増強すると考えられている。	クラスⅠ抗不整脈薬 ジソピラミド プロカインアミド アジマリン 等	過度の心機能抑制作用があらわれることがある。 用量を調節する。	相互に心機能抑制作用を増強すると考えられている。
<u>交感神経刺激剤</u> <u>アドレナリン等</u>	<u>血圧上昇があらわれることがある。</u>	<u>本剤のβ遮断作用により、α刺激作用が優位になると考えられている。</u>	〈該当項目なし〉		
<u>非ステロイド性消炎鎮痛剤</u>	<u>本剤の降圧作用が減弱するおそれがある。</u>	<u>非ステロイド性消炎鎮痛剤は、血管拡張作用を有するプロスタグランジンの合成・遊離を阻害する。</u>			

(裏面につづく)



改訂後	改訂前
<p>8.過量投与</p> <p>2)処置：過量投与の場合は、本剤を中止し、必要に応じて胃洗浄等により薬剤の除去を行うとともに、次のような処置を行う。なお、本剤は血液透析により除去されにくい。</p> <p>(1)過度の徐脈：<u>アトロピン硫酸塩、イソプレナリン塩酸塩等の投与や心臓ペースングを適用する。</u></p>	<p>8.過量投与</p> <p>2)処置：過量投与の場合は、本剤を中止し、必要に応じて胃洗浄等により薬剤の除去を行うとともに、次のような処置を行う。なお、本剤は血液透析により除去されにくい。</p> <p>(1)過度の徐脈：まずアトロピン硫酸塩水和物(0.25～1 mg静注)を投与し、さらに必要に応じて塩酸イソプロテレノール(初期投与量25μgを徐々に静注)又はオルシプレナリン硫酸塩(0.5 mgを徐々に静注)のようなβ刺激薬を投与してもよい。もしβ刺激薬を増量しなければならない場合は、血圧が過剰に低下しないように留意すること。</p>

☆ 改訂後の添付文書につきましては、医薬品医療機器総合機構ホームページ(<http://www.pmda.go.jp>)および弊社の医療関係者向け情報サイト(<http://med.sawai.co.jp>)に掲載致しますので、併せてご参照下さい。